

科目名	家 庭					開 講 キャンパス	神 園
担 当 者	赤 星 礼 子						
開 講 年 次	3	開講期	前期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	小学校家庭科の指導内容である、家庭生活、食生活、衣生活、住生活、消費生活、生活環境に関する基礎知識と技能の習得をねらいとしている。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 家族・家庭に関する基本用語を説明できる。 2) 家族・世帯の変容を理解できる。 3) 食生活と「食育」の関係を理解する。 4) 衣服の役割を理解する。 5) 「住まい」と地域の生活環境との関係を説明できる。 6) 消費者問題発生の現状を知る。 7) 「循環型社会」の現状を知る。 8) 「生活情報」の入手・選択ができる。 9) 家庭生活のなかに生活課題を見出すことができる。						
学 習 方 法	講義、ビデオ視聴						
テキスト及 び参考書等	テキスト：『家庭科の授業をつくる―授業技術と基礎知識―小学校編』柳昌子・中屋紀子編著、学術図書出版						
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	◎				70	
小テスト等			○	○		10	
宿題・授業外レポート			○	○		10	
授業態度			○	○		5	
受講者の発表			○	○		5	
授業への参加度							
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	家政学と家庭科教育、「生活」研究の関係について						
第 2 週	家族・家庭に関する基本用語						
第 3 週	家族の機能と役割						
第 4 週	生活時間の管理と設計						
第 5 週	家族の変化と問題・課題						
第 6 週	食生活・食育の意義						
第 7 週	栄養と調理						
第 8 週	衣服の役割						
第 9 週	衣服の素材と管理						
第 10 週	住まいの役割						
第 11 週	住まいの環境						
第 12 週	消費生活における「契約」の意味						
第 13 週	消費者問題の発生						
第 14 週	循環型社会における消費行動						
第 15 週	情報の入手と選択						
第 16 週	定期試験 (筆記試験)						
備 考	新聞を毎日読みましょう。						